

# ちとせ 市議会だより

No.183



「ありがとう。B747」(みどり台 高西 宏和 さん 撮影)

平成4年から運用され、平成31年3月末で退役した政府専用機B747。

「千歳に来たら政府専用機を見る事が出来る」と、全国各地から航空ファンが写真に納めていました。27年間日本国の顔として、千歳の象徴としてありがとう。お疲れ様でした。(撮影者のコメント)

## 平成 31 年 第 1 回 ( 3 月 ) 定 例 会

### 目 次

● 定例会のあらまし	2 ～ 3 ページ
● 各委員会の活動状況等、議決結果等	3 ～ 5 ページ
● 一般質問	5 ～ 11 ページ
● 予算特別委員会質疑	12 ～ 14 ページ
● 常任委員会行政視察報告	15 ページ
● 議会事務局からのお知らせなど	16 ページ

# 定

## 例会のあらまし

### ●平成31年度当初予算を可決

平成31年第1回定例会は、3月1日から3月27日までの27日間の日程で開催しました。

この定例会では、市長から平成31年度各会計当初予算、平成30年度各会計補正予算、条例の制定など、報告13件、議案27件が提出されました。

このうち、平成31年度各会計当初予算にかかわる議案11件については、議長を除く22人の委員で構成する予算特別委員会を設置し、補正予算にかかわる議案4件については、13人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置し、それぞれ審査を付託しました。

また、その他の議案は、関係する常任委員会に審査を付託しました。

その結果、平成30年第4回定例会で継続審査となった議案3件と、平成31年度各会計当初予算をはじめとする各議案等について、原案のとおり可決しました。

この定例会の主な議案の内容は、次のとおりです。

#### 平成31年度予算

平成31年度一般会計、6特別会計および3企業会計の総額を  
718億6千734万3千円とする。

平成31年度予算の主な施策（第6期総合計画に掲げたまちづくりの基本目標順）

#### 1 あったかみのある地域福祉のまち

・地域福祉計画策定業務経費  
492万5千円

・介護サービス提供基盤等整備事業費  
1億7千120万円

#### 2 人と地球にやさしい環境のまち

・環境基本計画策定業務経費  
523万5千円

・防犯灯LED化促進事業費  
2千809万1千円

(単位：千円)

### 平成31年度各会計予算

会計名	平成31年度	平成30年度	増減	増減率(%)
一般会計	41,947,094	39,432,533	2,514,561	6.4
特別会計	14,633,218	14,468,445	164,773	1.1
国民健康保険	7,985,715	7,992,806	△7,091	△0.1
土地取得事業	380	380	0	0.0
公設地方卸売市場事業	42,962	67,154	△24,192	△36.0
霊園事業	30,337	27,134	3,203	11.8
介護保険	5,472,355	5,342,421	129,934	2.4
後期高齢者医療	1,101,469	1,038,550	62,919	6.1
公営企業会計	15,287,031	15,573,984	△286,953	△1.8
水道事業会計	3,266,438	3,239,707	26,731	0.8
下水道事業会計	4,649,468	4,959,973	△310,505	△6.3
病院事業会計	7,371,125	7,374,304	△3,179	0.0
合計	71,867,343	69,474,962	2,392,381	3.4

#### 3 安全で安心して暮らせるまち

・防災ハンドブック作成事業費  
596万7千円

・共同受信施設設置事業費  
9千825万円

・防災行政無線デジタル化整備事業費  
5億7千824万9千円

・公営住宅等長寿命化型改善等事業費  
3千326万4千円

#### 4 学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち

・小学校防音機能復旧事業費  
1億8千117万7千円

・北陽小学校分離校建設事業費  
3千841万円

- ・小中学校コンピュータ教室用パソコン等更新事業費  
1億3千621万4千円

- ・小中学校改修事業費  
1億4千828万円

- ・公立大学法人運営事業費  
27億2千478万8千円

- ・公立大学法人施設整備事業費  
9千814万1千円

- ・温水プール改修事業費  
1億68万8千円

- 5 活力ある産業拠点のまち

- ・支笏湖ヒメマスふ化場附帯施設整備事業費  
3千255万円

- ・千歳市観光PR大使等活動事業費  
525万9千円

- 6 都市機能が充実したまち

- ・都市計画マスタープラン策定業務経費  
539万7千円

- ・市道整備事業費  
3億2千960万5千円

- ・橋梁長寿命化対策事業費  
1億5千345万9千円

- ・長都駅前広場再整備事業費  
5千万円

○ 市民協働による  
自主自立の行政経営

- ・窓口業務等委託経費  
8千173万6千円

- ・市役所本庁舎改修事業費  
6億1千246万5千円

平成30年度補正予算

平成30年度一般会計歳入歳出予算の総額から7億5千660万5千円を増額したほか、3特別会計の平成30年度予算を補正。

制定された主な条例

◆千歳市総合計画条例

市の総合計画に関し必要な事項を定めるために制定。

◆公立大学法人公立千歳科学技術大学に係る重要な財産を定める条例  
公立大学法人公立千歳科学技術大学に係る重要な財産を定めるために制定。

◆千歳市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例  
学校教育法の一部改正に

伴い、引用条文に所要の改正を行うため制定。

◆千歳市基金条例の一部を改正する条例  
公立千歳科学技術大学施設整備基金及び森林環境基金を設置するために制定。

◆千歳市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例  
災害援護資金の利率及び償還に所要の改正を行い、並びに保証人を定め、併せて条文の整備を行うために制定。

◆千歳市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例  
放課後児童支援員の資格要件に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市営住宅条例の一部を改正する条例  
みなし特定公共賃貸住宅の家賃に所要の改正を行い、及び単独住宅の管理を定め、併せて条文の整備を行うために制定。

◆工事請負契約の締結  
屋外子局設置工事  
請負金額  
3億8877万8400円

◆千歳市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例  
学校教育法の一部改正に

◆千歳市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例  
学校教育法の一部改正に

◆千歳市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例  
学校教育法の一部改正に

◆千歳市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例  
学校教育法の一部改正に

◆千歳市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例  
学校教育法の一部改正に

◆千歳市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例  
学校教育法の一部改正に

◆千歳市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例  
学校教育法の一部改正に

◆千歳市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例  
学校教育法の一部改正に

意見書

第1回定例会において、意見案2件が議員提案され、いずれも全会一致で可決されました。

◆教職員の長時間労働解消

各委員会の活動状況

1月から3月に開催された各委員会の活動状況をお知らせします。



▼2月6日(水) 13時  
職員処分の処分を含む8件の所管事務調査を報告済みとした。

▼2月25日(月) 10時  
平成30年第4回定例会付託議案の千歳市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の制定についてを含む2件を原案可決とし、(仮称)札幌圏消防通信指令業務の共同運用に

に向け、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)」の見直しを求める意見書

◆農林水産物・食品の輸出強化を求める意見書

関係する基本協定書の概要を含む13件の所管事務調査を報告済みとした。

▼3月4日(月) 13時

千歳市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを含む5件の平成31年第1回定例会付託議案を原案可決とし、行政視察報告について決定した。

▼3月25日(月) 11時

地方税法の改正の概要の所管事務調査を報告済みとし、北海道知事及び北海道議会議員選挙に係る投票所入場券発送に係る不備の所管事務調査を継続調査とした。

▼3月27日(水) 11時30分

北海道知事及び北海道議会議員選挙に係る投票所入場券発送に係る不備の所管事務調査を報告済みとした。



▼2月6日(水) 14時  
交通安全教育施設再整備事業の概略を含む2件の所管事務調査を報告済みとした。

▼1月9日(水) 11時30分  
平成30年度行政視察報告について決定した。

▼2月27日(水) 10時  
平成30年度千歳市一般会計補正予算(案)の概要を含む16件の所管事務調査を報告済みとした。

▼2月25日(月) 10時  
ホクレン・ディスプレイスタンスチャレンジ千歳大会の開催を含む14件の所管事務調査を報告済みとした。

▼3月4日(月) 13時  
千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを含む3件の平成31年第1回定例会付託議案を原案可決とし、千歳市生きたるを支える自殺対策計画(案)の概要を含む2件の所管事務調査を報告済みとした。

▼3月4日(月) 13時  
千歳市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを含む3件の平成31年第1回定例会付託議案を原案可決とした。

▼3月14日(木) 11時  
平成31年第1回定例会付託議案の千歳市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてを原案可決とした。

▼1月22日(火) 13時  
議会改革について協議した。

▼2月28日(木) 13時  
第1回定例会の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼3月8日(金) 10時  
第1回定例会2日目の議



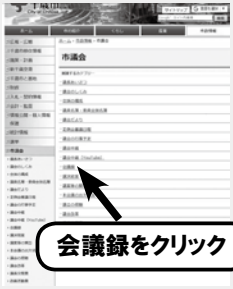
※議案第7号「平成31年度千歳市土地取得事業特別会計予算」は「○」 議決結果概要・議案についての賛否など 「○」=賛成 「×」=反対 議席番号「23」古川昌俊議員は、議長のため、賛否は「-」としています。

事件番号	件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	付託委員会	議決結果
		坂野智	岩瀨順郎	飯田盛好	吉谷徹	今野正憲	平川美由紀	仲山正人	大山益己	末村友幸	山口康弘	小林千代美	北山敬太	松隈早織	宮原伸哉	松倉美加	五十嵐桂一	岡部いづみ	山崎昌則	佐々木雅宏	香月正	渡辺和雄	渡野章一	古川昌俊		
(平成30年4定) 議案第3号	千歳市総合計画条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
(平成30年4定) 議案第4号	千歳市一般職の任期付職員採用及び給与の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
(平成30年4定) 議案第7号	公立大学法人公立千歳科学技術大学に係る重要な財産を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	科技大公立法人調査特別	原案可決
議案第1号 ～ 議案第4号	・一般会計(第5回) ・特別会計【国民健康保険(第2回)、介護保険(第2回)、後期高齢者医療(第1回)】 以上、平成30年度千歳市4会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	補正予算特別	原案可決
議案第5号 ～ 議案第14号	・一般会計 ・6特別会計【国民健康保険・土地取得事業・公設地方卸売市場事業・霊園事業・介護保険・後期高齢者医療】 ・3企業会計【水道事業・下水道事業・病院事業】 以上、平成31年度千歳市10会計予算について	○	○	○	×※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	予算特別	原案可決
議案第15号	千歳市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
議案第16号	千歳市基金条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	予算特別	原案可決
議案第17号	千歳市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	産業建設	原案可決
議案第18号	千歳市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	厚生環境	原案可決
議案第19号	千歳市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	厚生環境	原案可決
議案第20号	千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	厚生環境	原案可決
議案第21号	千歳市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	産業建設	原案可決
議案第22号	千歳市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	産業建設	原案可決
議案第23号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
議案第24号	札幌市及び千歳市における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
議案第25号	札幌広域圏組合の解散及び解散に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
議案第26号	札幌広域圏組合規約の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	総務文教	原案可決
議案第27号	千歳市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	厚生環境	原案可決
意見案第1号	教職員の高時間労働解消に向け、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)」の見直しを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	原案可決
意見案第2号	農林水産物・食品の輸出強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	原案可決



## 会議録が、 タブレットやスマートフォン で検索できます!

これまで、定例会などの会議録の検索はパソコン検索のみの対応となっておりましたが、このたびスマートフォンやタブレットでも検索できるようになっています。



会議録をクリック

千歳市ホームページ内、「市議会」のページから「会議録」をクリックすると、PC版またはタブレット・スマートフォン版の会議録選択ができます。

事運営について決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼3月14日(木) 12時30分  
一般質問における発言の取り消しについて協議した。

▼3月26日(火)  
予算特別委員会終了後  
第1回定例会最終日の議事運営について決定し、議会改革について協議した。



▼2月13日(水) 14時

千歳市基金条例の一部改正(案)の考え方を含む2件について報告済みとした。

▼2月26日(火) 13時  
平成30年第4回定例会付託議案の公立大学法人公立千歳科学技術大学に係る重要な財産を定める条例の制定について原案可決とし、千歳市基金条例の改正(案)の概要を含む3件の所管事務調査を報告済みとした。

▼3月25日(月)  
予算特別委員会終了後  
公立大学法人公立千歳科学技術大学の料金の上限の概要の所管事務調査を報告済みとした。

**問** 本年1月に「ベビー&キッズ デキタ☆フェスタ こちとせ」という親子イベントが行われ、多くの親子連れが来場したことから、このようなイベントの需要は大変高いものと考え、そこで何う。①このようなイベント開催に対する所見。②親子イベントの継続に向けて、市はどのように関わっていくのか、また、市が主催する考えを含めて、市ではどのような取組ができるのか。③市内外から多くの来場者呼び込むための子育てイベントを開催すること

### 子育てイベント



公明党議員団  
今野 正恵 議員

## 市政 についての質問

**答** 市長 ①本イベントは、市内の子育て中の母親が、これまでに培われた豊富な知識や経験をもとに企画・運営をされたことが、多くの子育て世帯の共感呼び、成功につながったものと考へており、その労に感謝するとともに、子育て支援策を進める本市としても、大変意義が深く、心強く感じている。②本イベントは、市民協働の取り組みの一つである、「ひと・まちづくり助成事業」として、子育て中の母親たち自らが、企画・運営した貴重なイベントである。市は、市民の自主活動を尊重する観点から、側面的に支援していくことが望ましいと考えており、今後、事業の後援のほか、実施に関する相談や周知などの可能な支援を行ってきたい。③市は、イベントへの参加を通じて、この街

今定例会では、3月11日から14日の4日間にわたって、各会派等の一般質問が行われました。これらの質問の中から、主なものを掲載します。

で子どもを産み育てたいと考えるキツカケとなるよう、いいお産の日こちとせをはじめとする多種多様なイベント等の開催に取り組んでいる。また、市内の立地企業や市民団体なども、市内外から多くの親子連れが来場する集客イベントを開催し、本市の魅力を外内に発信している。

今後、子育て支援イベントの開催をはじめとする子育て支援施策の充実に努め、「子育てするなら、千歳市」のブランディングを推進し、子育て世代に選ばれ「子育てのまち」の実現を目指していく。

### その他の質問

- ・不妊症
- ・おくやみ窓口



公明党議員団  
仲山 正人 議員

### 避難所開設訓練

**問** 市は、2月2日に武道館が指定避難所となる町内会に協力を要請し、初動対応に特化した避難所開設訓練を実施した。今後の避難所運営マニュアル作成に生かされる訓練であり、災害に強いまちづくりを進める

上でも大変重要な訓練と考える。今回の訓練に対する市長の所見と今後の対応を伺う。

**答** 市長 避難所開設訓練は、北海道胆振東部地震の避難所開設から運営開始に至るまでの課題を踏まえ、市職員、施設管理者および地域住民の役割について相互理解を図ることを目的として実施した。

訓練参加者に対するアンケート調査や、町内会や施設管理者の代表者などが参加した訓練後の研究会では、多くの方から訓練の目的・

内容について「理解できた」、「地域で行う訓練などに生かしたい」などの回答をいただき、訓練目的は達成できたものと考えている。

また、本年4月から、そなえーるでは新たに避難所開設体験講座を設けることとしており、多くの町内会や自主防災組織などに活用していただきたいと考えている。

### 災害から地域を守る 人材育成

**問** 近年、自然災害が頻発

する中、どこの自治体でも防災士や防災リーダーの養成が叫ばれている。市が認定する防災リーダーの認定者拡大による人材育成が、災害に強いまちづくり・ひとづくりには大変重要と考えるが、今後の防災リーダー拡大に向けた施策について伺う。

**答** 市長 災害時において、自分の身は自分で守る「自助」と、地域の安全は地域で協力して確保する「共助」は極めて重要であり、防災リーダーが果たすべき役割は大きいものと考えている。

防災リーダーとして認定した皆さまには、町内会や自主防災組織の中核として活動していただいております。今後も、引き続き、市民防災講座の受講を促進し、一人でも多くの防災リーダーの育成に努め、災害に強い、まちづくり・ひとづくりを進めていく。

### その他の質問 ・奨学金

### 霊園管理



公明党議員団  
宮原 伸哉 議員

**問** 現在の合葬墓には献花台がないため、それが大変残念であるという声を聞く。石碑の上に、参拝者の献花の後と思われる包みが放置されたりしているが、このようなことが起きるのも、専用の献花台がないことも

その一因と考えられる。景観的な面や参拝者に気持ちよくルールを守ってもらうためにも、献花台は必要ではないかと考えるが見解を伺う。

**答** 市長 合葬墓が宗教観の異なる多くの方々のお墓であるとの考えから、これまで献花台は設置していませんでしたが、墓参される方の増加とともに、花を手向けたいという要望も多く寄せられていることから、利用者や宗教団体などの意見を伺い、今後、設置に向けてよく検討していく。

### 向陽台の空き家対策

**問** 向陽台と全市における空き家の推移とその傾向を伺うとともに、今後の向陽台の発展に向けた空き家解消の対策を伺う。

**答** 市長 市は、水道の閉栓情報に基づき空き家の実態把握を行っており、平成23年と平成30年との比較では、市全体で平成23年が3905件、平成30年が3947件に対し、向陽台地区は、平成23年が113件、平成30年が127件で、

ともに微増傾向にある。

空き家は、市内全域の課題であり、今年度、戸建の空き家の所有者に対し、利用実態についてのアンケート調査を実施した。その中で、向陽台地区では、19人から回答をいただき、「現在、倉庫として使用している」、「今後、家族が住む予定」など、売却の意向を持たない方もいたが、アンケートに不動産業者の情報を同封することで、空き家の活用を促している。今後も、所有者の意向の把握に努め、空き家の利用促進に努めて

いく。  
市民環境部長 向陽台地域のアンケートの回答で、「不動産業者に売却してもいい」というものもあったことから、相談や意向があれば流動化に向けて話しをしている。

今後も、年に2回閉栓情報の数値の更新を行い、データ蓄積に努め、新たな物件があれば持ち主の意向を確認し、利活用に向けて取り組んでいく。

### その他の質問 ・道路の安心安全 ほか



ちとせの未来を創る会  
渡辺 和雄 議員

千歳市における小中学校の今後のあり方

**問** 小学校で、1学年当たり1から2学級の学校が4校、中学校でも3学級以下の学年のある学校が3校あるが、学級数が減ってきている小中学校について、教育委員会としてどのような認識なのか。また、今後、

どのように対応していくのか伺う。

**答** 教育長 教育委員会では、毎年度、住民基本台帳をもとに、0歳児から14歳の校区内の人口を算出し、直近5年間の増減の平均値を加味し、0歳児が入学するまでの6年間の児童生徒数および学級数の推計を行っている。

平成30年5月に行った推計では、同年5月現在の小中学校の児童数5517人、特別支援学級を除いた学級数197に対し、平成36年度の見込み数は、児童数

5006人、172学級となり、児童数では511人、学級数では25学級が減少し、中学校では、平成30年5月現在の生徒数が2722人、特別支援学級を除いた学級数84に対し、平成36年度の見込み数は、2702人、83学級で、生徒数で20人、学級数で1学級が減少する見込みである。

これらの状況を踏まえ、教育委員会内部に設置している小中学校適正規模・適正配置検討会議において、市内小・中学校の現状と課題について抽出し、公立小

学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引を踏まえて、学校規模の適正化に関する基本的な方針を取りまとめている。

公立化後の千歳科学技術大学の今後

**問** 現在の千歳科学技術大学には、開学当時より、巨額の市税を注ぎ込んでおり、これ以上、市民に負担をかけることはできない。

万が一、再び、定員割れなどが生じた場合は、存廃の是非などを市民に諮るべ

きと考えるが、どのように受けとめるのか伺う。

**答** 市長 健全な大学運営を図るうえで、定員を満たすことは大前提であると考えている。  
入学生の動向等により、将来的な状況は事前に想定できることから、市は、毎年度、千歳市公立大学法人評価委員会が行う実績評価や、監事の監査報告を踏まえ、学生の確保に向けた新たな魅力づくりを行うなど、的確に必要な対策を講じることで、収容定員の充足に努めていく。



ちとせの未来を創る会  
小林 千代美 議員

一般会計予算案に対する発言

**問** 市長は、1月24日に行われた講演の中で、「新年度の一般会計予算は、444億円余りとなる見込み」と発言した。これは今定例会で提案された一般会計予算案419億円以上の金額である。市議会への説明もいまま、自身の

任期以降の内容も含まれているこの発言は、時節柄、選挙目当てとも思われかねず、議会のルールを無視したものである。市長の見解を伺う。

**答** 市長 1月24日に実施した出前講座において、人口の推移や財政事情など本市の現状に触れながら、本市が抱えている課題とその解決に向けて、今後検討しなければならぬと考えている事業についての講話を行った。この中で、「発展を続ける本市にあっても、まちの規模に相応した適切な財政規模を維持し、健全で効率の良い財政運営を

4期目の市政報告

**問** 昨年末に企画部秘書課

進めていかなければならない。」という主旨の話をしたところである。この内容について、分かりやすく本市の状況をご理解いただくため、一年度間の総予算の見通しとして、例えば、今後検討しなければならぬ事業全体を実施した場合に、その予算規模がどのくらいになるのかを例示したうえで、本市の発展に伴って、財政需要も高まっているという状況をご説明した。

が発行した「4期目の市政報告」は公約達成状況などが盛り込まれており、4年前選挙の際に山口幸太郎後援会が発行したマニフェストに対する達成状況が冊子になっている。政治的利用物であり、市の職員が勤務時間中に公金を使って、市長の後援会活動をしているとなりにかねず、地方公務員法第36条の公務員の政治的中立に抵触するものではないか、市長の見解を伺う。

**答** 市長 4期目の市政報告の内容とするところは、広報活動の一貫として、本市の行政施策の取組の成果を市民の皆さまにホームページを通じてお知らせするものであり、市長としての、日々の行政活動を掲載しているホームページの「市長の日記」などを取りまとめたものである。  
また、市長として負託を受けた現任期における市政の総括を市民の皆さまにお知らせすることは、行政機関として果たすべき説明責任のひとつであると考えており、これまでも継続した業務の一環として、任期の節目に行ってきたところである。





日本共産党  
吉谷 徹 議員

国民健康保険料の算定等

**問** ①国民健康保険の都道府県単位化が、2018年4月から実施されて間もなく1年を迎えようとしている。全国的には昨年度より上がると思われるが、市民の保険料について、市民からもどうなるのか、質問

の声をいただくことから、千歳市の標準保険料率について、昨年度と比較して増減はどのようになっていくのか伺う。

**答** 市長 ①基礎賦課分、後期高齢者支援金等分および介護納付金分を合わせた、平成31年度の本市の国民健康保険の標準保険料率は、所得割が12・89%で、今年度の13・37%に比べて0・48%の減、均等割は5万1468円で、今年度の3万6300円に比べ、1万5168円の増、平等割は、3万3675円で、今年度の3万6600円に比べ、2千925円の減となっている。②市は、北海道全体で進める国民健康保

えを伺う。

険料水準の統一や、持続可能な国民健康保険制度の確立かつ安定した健全運営を図るため、現行行っている一般会計からの※法定外繰入は、解消していく必要があるものと考えており、今後北海道の方針に沿って、決算補てん目的の法定外繰入金金の解消に向けた取組を進めていく。

※法定外繰入  
例外的に一般会計から繰り入れる経費のうち、国民健康保険料の抑制等を目的とした、厚生労働省の示す

基準に合致しない経費。



その他の質問  
・市長の政治姿勢  
・教育行政



無所属  
落野 章一 議員

敬老祝い金

**問** 77・88・99・100歳の高齢者に敬老祝い金を贈っている。市の行政事務事業評価では市民の必要とする意識や利用者の需要は減少傾向にあるとし継続するが見直して縮小するとした。高齢者は10年に1回のお年

玉のような祝い金を喜んでくれるし私は大事なことだと思ふ。財政状況は厳しいがこの事業は大枠として維持すべきだ。ご所見を伺う。

**答** 市長 敬老祝金は、市内在住の高齢者の長寿を祝福するとともに、社会に貢献した労をねぎらい、あわせて市民の敬老思想の高揚を図ることを目的としており、事務事業評価では、社会情勢の変化により、市民ニーズが減少傾向にあるものと評価しているが、見直しに当たっては、事業の継続を前提にしている。見直

防災行政無線などによる災害情報の伝達

**問** 北海道胆振東部地震で市の防災行政無線は7回放送された。指定避難所、公共施設での電源確保、受水槽とポンプで給水する建物での断水、給水サービスの

しの内容は、対象者の年齢要件の統廃合や贈呈金額の変更を検討することとなるが、これらについて、現在、担当においてシミュレーションを行っており、実施時期も含め、継続して検討していく。

場所については市民の命に関わる最小限必要な情報だ。ホームページやメール配信は別にして防災行政無線、市の福祉課への電話による問い合わせ、アラートなど何らかの方法で市民に届けて欲しい。ご所見を伺う。

**答** 市長 本市では、防災行政無線での情報伝達のほか、メール配信サービス、ホームページおよび災害用SNSを用いるなど、それぞれの情報伝達手段の特性に応じながら対応することとしている。そのほか、地方公共団体は、放送事業者

などを通じ、災害情報共有システムにより、避難指示や避難勧告、開設した避難所などの情報を、テレビ、ラジオ、携帯電話など、様々なメディアから発信することとしており、更に、総務省では、ガス・電力などのライフライン事業者や交通事業者などへの、更なる拡充を目指している。

災害時においては、まずは、様々な情報の収集体制の構築を図るとともに、多様な手段を用いた必要な情報の提供に努めていく。





山口 康弘 議員

児童虐待対策

問 当市でも、児童虐待の相談件数は年々増えていることから何う。①人員体制は十分か②夜間の速やかな対応体制の整備③スクールロイヤールの設置について④警察・児童相談所、他の自治体との情報連携と電子システ

ム化⑤市民向けの児童虐待対応マニュアル要約版の作成と配布⑥体罰の禁止にむけた児童虐待防止条例の取り組み。答 市長 ①子ども家庭総合支援拠点として配置すべき職員数の基準は満たしている。②夜間等に虐待通報があった場合、市の庁舎管理員が状況を聞き取り、担当職員へ連絡して迅速に対応する。③虐待を疑う保護者対応には、スクールロイヤールの関わりが重要であり、子どもたちの安全を最優先に必要な対応を検討する。④電子システムによる情報共有の必要性は理解する

観光スポーツ行政

問 次に何う。①自衛隊のイベントや工場・空港での体験を体験型観光として市内外へ売り込み②サイクルツ

が、個人情報保護対策などの課題もあることから、国や北海道の動向を注視し調査研究していく。⑤市民向けの冊子を作成し、躊躇なく通報等の行動に移せるよう周知啓発に努める。⑥条例の制定は考えていないが、国の動向を注視しながら児童虐待の防止に努める。答 市長 ①自衛隊などのイベントは重要な観光資源として認識し、情報誌やホームページで紹介している。②ルートサインやコース設定などの課題もあるが、関係機関等と連携し、地域特性を生かした推進に努める。③延伸のル

ーリズムのナショナルルートの作成と大会及び合宿誘致③札幌恵庭自転車道の千歳市までの延伸④スポーツ合宿において十分な食事の提供ができる施設の需給バランスと対策⑤合宿選手専用のトレーニングルームの新設⑥e(イー)スポーツの大会誘致



大山 益巳 議員

千歳市都市宣言

問 ①5つの都市宣言は、千歳市総合計画の各施策にどのように反映されているのか。②ホームページ・要覧とせに都市宣言の内容を記載するべきと考えるがいかがか。③スポーツ都市宣言は来年に50周年を迎えるが、記念イベン

ト等を行う考えを何う。答 市長 ①交通安全都市宣言は、交通安全の推進を目標とし、交通安全対策の充実、交通安全環境の整備の施策を掲げ取り組んでいる。青少年健全育成都市宣言は、青少年の健全な育成を目標とし、青少年健全育成活動の推進、青少年の非行防止の施策を掲げ取り組んでいる。スポーツ都市宣言は、生涯スポーツの推進を目標とし、生涯スポーツの啓発と普及、スポーツ施設の充実の施策を掲げ取り組んでいる。暴力追放・防犯都市宣言は、防犯対策の充実を目

標、施策として掲げ取り組んでいる。②すべての都市宣言について、ホームページと要覧とせに掲載する。③市民のスポーツに対する関心を高め、都市宣言が目指す市民皆スポーツをさらに進める記念イベントの実施などについて、よく検討していく。

子育て行政、幼児教育・保育無償化

問 ①幼児教育・保育の無償化に伴う市の負担額の見込み。②国基準の待機児童と潜在待機児童の人数。③今後の保育ニーズの増加と保育定員

の拡大について。④次期子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュールについて。答 市長 ①平成31年度は約4千万円の負担増を試算しているが、平成31年度に限り全額を国費で負担する。②国基準による待機児童はなく、潜在待機児童は、合計108人である。③女性就業率の上昇に伴い、保育ニーズが高まっており、幼児教育・保育の無償化により、認定こども園等の利用者の増加が見込まれることから、保育ニーズは今後も増加するものと考え、保育定員の拡大については、子

ども・子育て支援アンケートの分析結果などを踏まえ、幼児教育・保育の無償化の影響など、総合的に見地から、必要な保育定員を決定していく。④市では、昨年12月に実施した子ども・子育て支援アンケートの結果をもとに、子ども・子育て会議による審議や庁内検討会議の開催、パブリックコメントの実施、子育てママ応援会議および保健福祉調査研究委員会からのご意見を伺うとともに、厚生環境常任委員会においてご審議いただき、計画開始に向けて策定作業を進めていく。



自民党議員会  
山崎 昌則 議員

### 下水汚泥処理施設

**問** ごみ焼却施設は現在の場所から移転し、平成36年に稼働する予定だが、この焼却施設の熱を利用して下水汚泥処理施設が使用できなくなることはないか。①新たな汚泥処理システムの検討で、焼却廃熱発電方式が優れ

ていると判断した理由と総合評価で判断した考え方②新たな汚泥処理施設を新しいごみ焼却施設に建設する検討は行ったのか③完成までのスケジュール④施設整備には膨大な費用がかかるが、下水道使用料に影響が出てくるのか。

**答** 市長 ①選定は2段階方式で実施し、1次選定は12種類の処分方式について検討し、実現の可能性が低い7種類を除外した。2次選定は、焼却廃熱発電方式など5種類の総合評価を行い最終選定した。評価項目や配点は、経済性、技術面や環境面などを考

慮する評価方法とした。②ごみ処理施設の近くに建設する方法は整備費用が高額となり、ごみ処理施設に汚泥を持ち込み一緒に焼却する方法は、施設整備や維持管理に多額の費用が発生することから難しいと判断した。③平成31年度は設計と工事を一括発注する仕様書の作成、平成32年度に発注、平成33年度から工事に着手し、平成36年度に供用開始する。④汚泥処理施設の整備費用は、今後の財政収支の見通しに盛り込んでおり、使用料の引上げにつながることはないと考えている。

図上で総合的に管理しており、他の施設も台帳を整備し施設管理を行っている。指定給水装置工事事業者の5年更新制の導入は、今後公布される政令等を確認し、円滑な導入に向けて取り組んでいく。②本市の水道事業は安定的な経営が見込まれ、良好な水質の水を供給していくことが可能であり、災害時には、直接、給水業務に関わることに、市民の安全安心が図られることから、水道施設における公共施設等運営権（コンセッション方式）の設定は考えていない。



自民党議員会  
五十嵐 桂一 議員

### 避難所運営マニュアル

**問** 昨年の地震を経験し、今年度中に見直しをするとした避難所運営マニュアルに関して、次の3点について伺う。①昨年9月6日の地震発生時における避難所の開設判断が遅いと思われる。果たして適切だったの

か。②熊本市では、震度6弱以上の地震で避難所を自動開設、また、開設の判断を施設管理者にも認めている。改訂するマニュアルではどうなるのか。③冬期間は指定避難所に用意した90台の暖房器具で、特に、学校の体育館などは本当に暖まるのか不安である。余震より寒さの方が相応に危険と思われる、避難所運営は、何よりも寒さ対策に重点を置くべきである。一般的に、マイカーは満タン程度の燃料があれば、丸1日は冬場でも大丈夫なようであるが、

冬季に災害が発生した場合の暖房対策は十分か。マイカー等の利活用は考えられないのか。

**答** 市長 ①北海道胆振東部地震では、本市では建物の崩壊や人命に関わるような大きな被害はなかったが、一部の市民の自主避難が始まったことから、自主避難者のいる指定避難所に、逐次、職員を派遣し受け入れを行った。その後、北海道電力や気象台からの情報により、避難が長期化する恐れもあったことから、9月6日、午前8時の第2回災

害対策本部会議で避難所開設の準備を指示し、同日午後4時30分に、45カ所の指定避難所を開設した。②新たな避難所開設・運営マニュアルでは、震度6弱以上の地震が発生した場合は、指定避難所を自動的に開設することとし、施設管理者や自主防災組織などは自主的に参集していただくこととなる。また、震度5強以下の場合や、札幌管区気象台から気象警報が発表された場合も、状況等に応じ、市は避難所の開設の指示をすることがあり、その指示に従って、施設管理者や自主防災組織が活動を行うこととしている。③昨年の第3回定例会における補正予算で、計画数の全数である毛布1万4千枚、ストーブ250台を整備し、今月末（3月末）までには、すべての避難所に配備する予定である。



# 住み続けたいまち千歳 第6回 市民の声を聴く会

～グループテーマ～

- ① 災害対応について
- ② 千歳の医療体制について
- ③ 交流人口を増やす取り組み

2月12日(火)に開催した市民の声を聴く会は、3つのグループテーマを設定し、議員23名と参加者27名がワークショップ形式で、グループトークを行いました。



【市民の声を聴く会 会場の様子】



参加者の皆さんから出された貴重なご意見やご提案は、

3月5日(月)から3月29日(金)  
・千歳タウンプラザまちライブラリー



3月29日(金)から4月12日(金)  
・市役所市民ホール



に展示しました。

## 北陽小学校の分離新設



自民党議員会  
香月 正 議員

**問** 分離校開校前の平成33年4月までに入学し、継続して北陽小学校をご希望される児童とその保護者に、通学区域の選択の自由を与えて頂きたい。また、現段階における学童クラブおよび児童館の設置について、

どのように検討されているのか伺う。

**答** 教育長 分離校の通学区域の児童に学校選択制を導入した場合、分離校開校時に空き教室が生じる可能性があること、対象となる児童の弟や妹が入学する場合に、同じ学校に通えなくなるなどがあり、多くの要望を取り入れた場合、当初の目的である北陽小学校の過大規模解消や長期にわたり母体校および分離校の学級数を標準規模以上で維持できなくなる恐れがあるなどの影響が考えられ

ることから、学校選択制の導入は難しいと考えている。  
**市長** 児童の放課後対策に関する検討について、学童クラブや児童館の設置の必要性や施設の規模などについて、庁内検討会議で協議しており、学童クラブは、設置が必要であると認識している。児童館は、市民の声や児童数の推計値及び地域の状況を勘案しながら、設置の必要性を含め、引き続き検討していく。

## 市民サービスおよび新元号への対応

**問** ①第2庁舎玄関入口付近にバックパネルなどを設置し、婚姻届を提出された方に記念写真を撮る場所を提供できないか。②今年、ゴールデンウィークは、これまで最長の10連休になるが、市民サービスの観点から、市民窓口の開庁などを検討されているのか。また、その場合の市民周知の方法について伺う。

**答** **市長** ①婚姻や出生などは大変におめでたいライイベントであり、記念撮影のためのバックパネルは、第2庁舎への設置を検討す

る。②10連休の開庁について、休日前後の窓口混雑の緩和や市民サービスの向上を図るため、住民異動の届出、戸籍等の証明書交付、国民健康保険の加入・脱退などの窓口を集約している第2庁舎の臨時開庁を予定している。また、市立千歳市民病院や児童館などの各施設においても、市民サービスを考慮した対応を行うこととしており、開庁することとしており、開庁する施設や開庁日は、広報ちとせ4月号や5月の市民カレンダー、市ホームページで周知する。



# 予算特別 委員会

## 質疑

平成31年度一般会計、  
6特別会計予算および3  
企業会計予算を審査する  
ため、議長を除いた22人  
の委員で構成する「予算  
特別委員会」を設置しま  
した。

この特別委員会は、3  
月19日から3月26日まで  
開催され、付託案件に対  
する質疑を行いました。

審査の結果は、第1回  
定例会の最終日に報告さ  
れ、認定しました。

ここでは、11人の委員  
が行った質疑の一部を掲  
載します。



公明党議員団  
平川 美由紀  
委員

### 火葬場使用料

**問** 市外使用者の火葬場使用料の料  
金設定は、周辺自治体に比べて安い  
と思われる。限られた火葬炉数に対  
して、市外使用者の受け入れが増え、  
その結果、市民にしわ寄せがくるの  
ではないかと危惧している。火葬の  
数も毎年増えており、市外使用者の  
使用料見直しは一つの方法と考える  
が、所見を伺う。

**答** 市民環境部長 平成27年度から  
29年度の3年間の平均利用者数は  
756人であり、それに占める市外  
利用者の数は29人で、割合は3.8%  
となっている。

市外利用者の事例として、市外在  
住者の方が千歳市内の病院でお亡く  
なりになられた場合や、居住するま  
ちの葬儀場の規模などの事情で千歳  
市内で葬儀を行う場合などがある。

市外利用者の方にもこのような事  
情があること、また、使用料も市外  
の方は、市民の2倍としていること  
から、現時点で料金の見直しは考え  
ていないが、市民にご迷惑をかける  
ことはできないため、平成33年度に  
予定する全市的な公共施設の使用料  
の見直しに向けて検証していく。



公明党議員団  
仲山 正人  
委員

### 交通安全対策

**問** 市道南13号道路と市道みどり台  
通の交差点での交通事故が非常に多  
く、地域の方から危険性を訴える声  
を数多く聞いている。現在は、市に  
注意喚起の看板を設置していただい  
ているが、この交差点は、道路に緩  
い上りの勾配があり、交差点を認識  
しにくいと感じている。本来なら、  
一時停止の標識を設置していただき  
たいが、予算などの関係で設置が困  
難なことでも理解しているので、せめ  
て、勇舞中前の交差点のようなドラ  
イバーへの注意喚起となる路面標示  
を施していただけはないか、所見を伺  
う。

**答** 建設部長 南13号道路とみどり  
台通の交通点の路面標示による安全  
対策について、この交差点周辺では、  
住宅の建設が進み、交通量の増加が  
見込まれていることから、道路管理  
者としても、一層の事故防止を図る  
ために関係機関とも協議を行い、ド  
ライバーへの走行速度の減速を促す  
路面標示を設置していきたい。



ちとせの未来を創る会  
松隈 早織  
委員

### 日常生活用具給付費

**問** 在宅で常に人工呼吸器が必要な  
患者に対する支援として、停電時に  
人工呼吸器のバッテリーを充電する  
ための自家発電機の給付を希望者に  
検討できないか。

昨年9月の北海道胆振東部地震を  
教訓として、すばやく対応を決定し  
た市もあれば、本市のように、なか  
なか対応できていない市もある。日  
常生活用具給付事業で自家発電機の  
給付ができないのか伺う。

**答** 保健福祉部長 人工呼吸器等を  
使用する障がいのある方について、  
昨年9月の北海道胆振東部地震で  
は、緊急用のバッテリーや予備の酸  
素ボンベの確保など、自衛手段を講  
じていると考えているが、長時間に  
わたる停電の場合には、非常用電源  
の確保は重要と考えており、日常生  
活用具として給付種目への追加がで  
きるかどうかを含め、他の自治体の  
取組などを調査し、検討を進めてい  
く。





ちとせの未来を創る会  
**北山 敬太**  
委員

## 施設管理業務委託料（指定管理）

**問** 図書館や市民文化センターの、前回の指定管理事業者の応募状況を見ると、応募が1社のみとなっている。

指定管理者制度の最大のメリットである住民サービスの質の向上を図るためには、複数の事業者が応募することによって競争性が発揮されることが望ましいと考えるが、複数の事業者が応募する環境を整えるため、各部ではどのような準備をされているのか伺う。

**答** 市民生活部長（葬斎場所管）

指定管理者の公募にあたっては、モニタリングの結果やアンケートの内容、社会経済情勢の変化などを仕様書や予算に反映することとしており、このことが結果として、事業者の参入につながるよう取り組んでいる。

**教育部長**（図書館、市民文化センター所管） 募集にあたっては、施設運営上あるいは市民サービスが低下しないことを念頭に置きながら、募集要項や仕様書で必要最低限の基準を定めており、それを踏まえて多くの応募を期待している。



日本共産党  
**吉谷 徹**  
委員

## 公立大学法人運営事業費

**問** ①中期計画の6年間で、スマートフォンイチャイチャとせ構想はどういった段階まで進める予定なのか。②奨学寄附金や受託研究費等について公立化後の獲得に向けた具体的な方策。③他大学との競争にどうやって勝っていく見通しか。また、科技大でないとは体験、経験できない魅力づくりの今後。

**答** 産業振興部長 ①将来展望について、現時点では具体的な事業計画はないが、今後、学内で実施に向けて具体化されるものと伺っている。

**企画部長** ②受託研究費、奨学寄附金、科学研究費補助金などの研究費獲得に向けて、原則、全教員が申請を行うこととしている。採択されなかった研究の採択への支援として、外部講師を招聘し、研究計画書や応募申請書等の作成方法に関する研修会を開催するなど採択に向けた強化に努める。③公立化による科学技術大学への関心が高まっていると認識している。市としては、大学の教育改革や学生等のニーズを捉えながら、教育研究環境の充実も合わせ、大学の魅力づくりを継続して行うことで、学生確保が図られるものと考えている。



自民党議員会  
**岩満 順郎**  
委員

## 道路施設修繕事業費

**問** 子供たちが通学する道路の明かりは、塾や学校の部活動の帰り道では頼りになる明かりである。そこで、次の3点を伺う。①街路灯更新事業の平成30年度の成果と31年度の予定。②桂木6丁目と新星をつなぐ道路の一部が暗いという市民の声があるが、この更新事業で街路灯を設置する予定はあるのか。③街路灯の設置が難しいのであれば、ほかに道路を明るくする方法はないのか。

**答** 建設部長 ①平成30年度は合計32基の街路灯のポールの更新やLED化を実施した。平成31年度は、合計37基の更新工事を計画している。

②街路灯は、国が定める道路照明施設設置基準により設置している。ご質問の支笏湖公園線の街路灯については、道路管理者の北海道に確認したところ、この基準に基づき設置しており、新たな設置は難しいとの回答であった。また、市の本事業でも更新する予定はない。③現在のナトリウム灯からLEDへの更新を北海道に要望するとともに、町内会が検討する防犯灯の設置にあたり補助を行うなど、町内会と協力して防犯灯の設置促進を図りながら、安心安全な生活環境の確保に努めていく。



自民党議員会  
**山口 康弘**  
委員

## 千歳川桜プロジェクト事業費

**問** 市民と共に作り上げる千歳川沿いの桜並木が、市街地の活性化につながることを期待し伺う。①植樹の進捗状況。②桜の管理に係る緊急時の対応。③直接寄付やふるさと納税による寄付を含めた、事業の告知方法。④善意で寄贈される桜の植樹費用は、市が負担できないか。⑤案内看板等の整備状況。⑥今後の桜並木の活用と中心商店街への観桜客の誘導についての考え方。

**答** 建設部長 ①約80本を植樹する計画で、これまで41本を植樹している。

②強風の場合には、公園指定管理者が巡回点検を行い、速やかな対応を行う。③広報ちとせへの掲載と本事業やふるさと納税のパンフレット、市やふるさと納税のホームページに掲載し、寄附者による植樹会、記念碑の除幕式を行うなどPRしている。④移植費用の低減に向けて検討していく。⑤案内板には、植栽している桜の箇所も明示することとしており、事業の最終年度に設置したい。⑥本事業は、新たな観光資源としての価値が高まりつつあり、観光客の増加も見込まれることから、今後も、桜の魅力の情報発信に努め、市民や観光客が千歳川を身近に感じ、にぎわいが創出され中心市街地の活性化につながるよう着実に推進していく。



自民党議員会  
末村 友幸  
委員

## スポーツ普及推進事業費

**問** 千歳市の冬の一大イベントである、ちとせホルメンコーレンマーチ・千歳市民歩くスキークの集いの参加者が年々減少している。より多くの千歳市民が参加しやすいように、健康増進やレクリエーションの要素が高い歩くスキークの種目を充実するべきと考える。また、大会運営について、市民に広く意見を聞くため、ワークショップでの検討ができないか見解を伺う。

**答** 観光スポーツ部長 大会の実施種目は、実行委員会がこれまでの大会運営の積み上げと参加者のアンケート、ボランティアの意見などを基に検討し決定したものである。歩くスキークの種目の充実については、市から実行委員会へ伝えることとする。また、市民の声を広く聴くためのワークショップ等の検討について、大会の実行委員、団体、ボランティアの方々、参加者のアンケート等に基づき、運営手法などの検証を行っており、他の地域のスキーク大会などからも情報を得ている。市民の声や参加者の声を広く聴くことについて、実行委員会へ伝えていく。



自民党議員会  
松倉 美加  
委員

## 第3埋立処分地高上げ事業費

**問** この事業は、現在の廃棄物埋立処分地の容量がオーバーすることを見越して、現在使用している埋め立て場所をかさ上げし、使用期間を延ばすための事業と聞いているが、現在の埋め立て処分地はあとどれくらいまで使用できるのか。

また、かさ上げ工事後に使用できる期間が、どれくらいまで延びるのか伺う。

**答** 市民環境部長 現在、市は、美々にある第1から第3までの三つの埋め立て処分地で、市内から発生する廃棄物の処分を行っており、埋立量は9割を超えていることから、現状のまま推移すると、平成34年度中には埋め立てる場所がなくなると想定している。

この事業で、第3埋立処分地を約3メートルかさ上げすると、約9万立方メートルの新たな埋め立て容量を確保することになり、平成41年度ごろまでの利用を見込んでいます。



自民党議員会  
岡部 いづみ  
委員

## アンカレッジ市訪問交流事業費

**問** ①交流50周年に際して、市内の祝賀ムードをどう盛り上げていくのか。②市の経済界との意見交換会を開催する考えはあるか。③高校生の交流やアラスカ大学と千歳科学技術大学の大学間交流を進めるべきと考えるが所見を伺う。④今後、アンカレッジ市との交流をどのように進めていこうとしているのか。

**答** 観光スポーツ部長 ①広報ちとせに交流の歴史を掲載し、ホームページに50年間の交流の軌跡を掲載する。また、第2庁舎のデジタルサイネージで交流の様子を流し祝賀ムードを高めていく。また、アンカレッジ展示コーナーのリニューアルも検討する。②今回は、経済界の方々から来られる予定はないが、経済界の方にも記念事業への参加を呼びかけたい。③記念事業の一環として英語スピーチコンテストを行い、上位の高校生がアンカレッジ市の高校を訪問し交流することなどを検討している。④交流の意義や目的を再確認し、相互理解と相互協力を深め、ともに発展するよう取り組んでいきたい。

**企画部長** ③記念事業において大学関係者同士で交流できる機会や対話する機会を持てるよう検討していきたい。



自民党議員会  
香月 正  
委員

## 防犯灯LED化促進事業費

**問** 防犯灯LED化促進事業費は、市内全域の防犯灯、約7300灯を7年間でLED化する事業として取り組んでいる。そこで次の3点を伺う。①この6年間でどの程度電気料金の削減効果があったのか。②今年度までの進捗状況と、平成31年度の計画は何灯になるのか。③LED化のメリットがあるなら、期限を限定せずに本事業を継続すべきと考えるが所見を伺う。

**答** 建設部長 ①平成25年度から30年度までの削減推計額は、1億7118万7千円である。②防犯灯LED化の進捗状況は、30年度末で進捗率約92%である。現在、町内会が31年度に予定している防犯灯LED化の申請を受け付けており、3月22日現在で17団体から合計145灯の申請を受け付けている。なお、昨年10月のアンケート調査にもとづく町内会の要望灯数436灯がLED化されても31年度末には200灯の防犯灯がLED化されずに残る見込みである。③本事業は防衛省の交付金を活用しており、31年度までの7年間の事業として実施しているが、町内会から事業継続の要望などがあることから、今後、防衛省と協議しながら、事業の継続をよく検討していく。



# 常任委員会

## 行政視察報告

### (先進自治体視察)

千歳市議会は、毎年、各常任委員会などで先進自治体などの行政視察を実施しています。  
ここでは、総務文教常任委員会が今年1月に実施した行政視察の概要を掲載します。  
なお、行政視察報告書の全文は、市議会ホームページでご覧いただけます。

### 総務文教常任委員会

#### ◆岡山市の一貫教育について

1月23日(水)

(岡山県 岡山市)

#### 【目的】

中学校区ごとの一貫教育によって幼児教育と小学校、小学校と中学校等の間に生じる教育の方向性の差を解消し、子供が安定し学力の伸びやすい状況をつくる「岡山型一貫教育」を視察。

#### 【要旨】

岡山型一貫教育は、岡山っ子育て条例に基づき自立する子どもの育成を目指す教育を進めるなか、学校・幼稚園・保育園で中学校区の教育の内容や方法などを一貫させる「縦のつながり」による学びの高まりを目指すため、平成21年度よりスタートした。現時点での成果としては、学力・学習状況調査の結果より、小・中学校ともに90%程度の学校で意識改革がみられ、保護者・児童生徒ともに意識変化がみられた。また、先生方の研究の活性化・活発化により、意欲の増加と意識改革につながっている。

岡山型一貫教育は、子どもたちの学力向上などを目指すものではな

く、幼稚園・小学校・中学校それぞれの教員が、互いの教育現場を見て理解し合い教育の方向性の差をなくすといった、先生方の意識改革のための取り組みであり、子どもたちへの直接的な対応ではないが、将来的に大きな教育効果が期待されており、中1ギャップなどの問題の解消にもつながっていることから、当局が小中一貫教育の導入を考える上で、行政機関の教育委員会に対する効果も含め参考になった。

#### ◆下関市コミュニティ・スクールについて

1月24日(木)

(山口県 下関市)

#### 【目的】

地域の人々と目指す、子ども像・学校教育目標等を共有しながら、一体となって子どもたちを育てていくことができる「地域とともにある学校」を目指した独自のコミュニティ・スクールの視察。

#### 【要旨】

下関市コミュニティ・スクールでは、地域住民や保護者、教員が委員となり、学校や地域の願いの実現を話し合うため、学校運営協議会をそれぞれの小・中学校ごとに設置している。結果として地域住民や保護者に対する説明責任の意識が向上し、

これまで以上に学校課題や情報を開示したため、風通しの良い学校運営が可能となったという報告は、今後の当市におけるコミュニティ・スクールの在り方を考える上で参考になった。

また、子どもたちのために何かしたい・力になりたいという思いを持つ人々が集まり、学校支援等を行う学校応援団を設置しており、この「学校応援団」という分かりやすい名称で地域住民の参加を促す手法は大変参考になった。その他、学校運営協議会のサポートや、学校と学校応援団・地域をつなぐ役割を果たすため、平成27年度から全ての学校にコーディネーターを設置して効果を上げている。下関市の取り組みを視察し、決して地域から学校への一方的なものではなく、学校からの地域への働きかけでもあるという、コミュニティ・スクールの本来の意義を正しく理解することができた。

#### ◆地震による災害対応及び復興について

1月25日(金)

(熊本県 熊本市)

#### 【目的】

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震において、当市では体験したことのない災害に見舞われ

た。実際の対応には課題も多く見られ、今後起こらないとも限らない大型の震災に対し、備えを含む対策と復興に向けた取り組みを考察するため、熊本市における「地震による災害対策及び復興」を視察。

#### 【要旨】

熊本市は、平成28年4月14日および16日と、2度も発生した熊本地震により様々な問題が生じた。現在も復興に向けて取り組みを行っている。

災害直後の対応の問題としては、それまで地震による被害はなく、初めて経験する事態に職員たちが動揺し、災害訓練が生かされなかった。また、市民からの問い合わせが殺到して回線がパンク状態となり、被災状況の情報収集ができなかった。備蓄物や支援物資を十分に把握できなかった、支援を受け入れる体制が整っておらず素早く活用できなかったなど、避難者も震災前に想定していた5万人を大きく上回り、避難所の備蓄が不足し、物資の配送が2段方式で、届くまでに時間を要したなどが挙げられた。

そこで、災害対応力強化と復興に向けてLINEを活用した情報収集、企業と災害協定を締結、震災対処実動訓練の実施、避難所運営のマニュアル作成、校区ごとに避難所を運営するシステムへの改定、避難所単位とした校区防災連絡会を設立し、学校・市職員・地域の協力関係を形成、復興支援室を創設するなど対策は、今後の当市の災害対応を考える上で大変参考になった。

## 千歳中学校3年生と市議会との交流学習会

平成31年2月20日(水)に、千歳中学校3年生のみなさんと交流学習会を開催しました。学習会は、市議会議員23名全員が参加し、3つの常任委員会が5班にわかれて、3学年5クラスで身近なテーマについて、みなさんと考えながら意見交換を行い、その後、一緒に給食を食べながら交流を深めました。生徒のみなさんの交流は、市議会として大変有意義なものでありました。今後とも、若い世代との交流を積極的に行ってまいります。

～交流学習会の様子～



## 北進中学校生徒さんと市議会の交流学習会

平成31年2月21日(木)に、北進中学校のみなさんと交流学習会を開催しました。学習会は、市議会運営委員会の委員のうち6名が参加して、千歳市と市議会の関係や議員の仕事などについて学習し、その後、一緒に給食を食べながら交流を深めました。市議会として、生徒のみなさんの意見や交流は大変有意義なものであり、今後も、共に学び交流する学習会を積極的に行ってまいりたいと考えております。

～交流学習会の様子～



～給食交流の様子～

### 議会事務局からのお知らせ

#### ★定例会の予定

令和元年第2回定例会は、6月6日(木)に開会する予定です。正式な日程が決まり次第、市議会ホームページやポスターでお知らせします。

#### ★市議会ホームページのご案内

市議会ホームページに、定例会の審議日程、議員の質問通告の内容などを掲載しますので、ぜひご覧ください。

#### ★表紙を募集しています！

「市議会だより」(年4回:2・5・8・12月発行)の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。

千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしております。

(問い合わせ先)  
千歳市議会事務局 総務課 調査係  
TEL 0123-24-0791 (直通)

#### ★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。



希望される方は、次のところまでお問い合わせください。

(問い合わせ先)  
千歳市総合福祉センター2階  
点字図書室 TEL 0123-27-3921

#### 編集後記

平成最後の定例会が開会しました。今定例会は、市長改選前の最後の定例会で、骨格予算の審議でしたが、議員各位が役割を果たすべく、活発な議論が展開されました。

この議会報は、176号から2年間にわたり作成してきた現編集委員会メンバーでの最後の号。膨大で難しい内容をどう正確に分かりやすく伝えるか、個人的なメンバーが知恵を絞り、多くの改善を行いました。特に表紙写真はたくさんの方の協力のおかげで、親しみやすい表紙になったと思います。

今号は、新旧交代した旧政府専用機最後の雄姿。たくさんの方の最後を飾るにふさわしい表紙になりました。ご協力をいただいた市民の皆様と委員、事務局に心から感謝です。ありがとうございました。

#### 議会報編集委員会

委員長 松倉 美加  
副委員長 宮原 伸哉  
委員 飯田 盛好  
岩満 順郎  
今野 正恵  
小林千代美  
吉谷 徹

市議会だよりは、再生紙と大豆インキを使用しています。